

インシデント・アクシデント報告（児童発達）令和2年4月～9月（9/26付）

*4月は新型コロナ感染予防対策のため、ぼてと活動日数が通常よりは少ない。

月	総数	時間						男女比		場所別										事故の分類（何があった）										理由							
		8時台	9時台	10時台	13時台	14時台	15時台	男	女	遊戯室	中庭	児発室	放課後 部屋	駐車場	畑・海・川・公園	車内	廊下・トイレ	その他	転倒	転落	衝突	打撲	捻挫	指はさみ	噛みつき・ひっかき	外傷（擦り傷・切り傷）	アレルギー	感染症（発熱・嘔吐）	車内トラブル	他害行為	脱走・飛び出し	その他	活動内容・周辺状況	要因の遊具・用具	子ども同士の関わり	特性	不明
4月	13	2	3	0	4	4	0	13	0	8	0	3	0	0	1	0	1	0	3	2	2	1	0	1	1	2	0	0	0	1	0	0	4	4	2	2	1
5月	42	3	6	0	16	16	1	39	3	18	5	12	3	2	0	1	1	0	4	2	5	9	1	2	4	5	0	0	1	8	1	0	8	11	13	10	0
6月	35	0	5	2	0	15	13	28	7	12	0	16	0	0	0	2	4	1	6	1	1	1	1	0	6	8	0	1	0	7	0	3	10	6	14	3	2
7月	33	0	5	7	0	13	8	27	6	19	1	12	0	0	0	0	1	0	2	1	4	11	1	0	3	8	0	0	0	3	0	0	13	7	10	3	0
8月	41	0	3	13	1	13	11	36	5	23	0	15	0	2	0	0	1	0	6	4	10	5	0	1	0	4	3	0	0	8	0	0	20	4	12	5	0
9月	33	0	5	6	0	14	8	24	9	13	3	13	0	0	0	0	3	1	3	4	6	13	0	3	1	1	1	0	0	0	0	1	13	9	3	6	2
合計	123	5	19	9	20	48	22	107	16	57	6	43	3	2	1	3	7	1	15	6	12	22	3	3	14	23	0	1	1	19	1	3	35	28	39	18	3

・9月の件数は合計33件（先月比20%減少）昨年度平均16件に比べると106%増

・時間帯別としては、14・15時台の件数が22件、割合としては午前（33%）午後（67%）と午後に発生する割合が高い

・曜日別では、月4（4）、火4（3）、水9（3）、木3（4）、金5（3）、土8（3）と、水曜日（27%）土曜日（24%）に発生する割合が高い

・場所別ではリハビリ室での件数13件、児発室13件（共に39%）が最も多い。

・事故分類の内訳を見ると、衝突の件数が13件（39%）と最も多い。

インシデント件数

6月22件 児童に関する事案14件、物品（スラックライン・釘落ち・駐車場柵・チャイルドシート管理）4件、
事務処理（ノート・帽子・靴下入れ違い）等に関するもの4件

7月26件 児童に関する事案16件、物品（バランスボール・消毒液配置場所・公園ブランコ・へびおもちゃ・とび箱・外プール・ゴールネット）9件、
事務処理（利用予定表のミス）1件

8月35件 児童に関する事案33件、物品（落下物：血の付いたカットパン・アメリカピン）2件

9月21件 児童に関する事案（助手席の件など）14件、物品（落下物：ボールペン・トランポリンの使い方・ムカデの発見）3件、
事務処理（送迎関係・人の出入りの件）4件

9月対応策の検討として

・リスク事案に関して予測出来ていたのか、予測を立てて対策を立てれていたのか検討を進めていくことに

レベル1：予測（○）対策（○） レベル2：予測（○）対策（×） レベル3：予測（×）対策（×）

9月 レベル1：11件 レベル2：17件 レベル3：5件

・転落を防ぐ対策（机・柵など）を検討していく

・決まり事や事故発生に関して、システムエラーによるものか、個人エラーによるものなのか検討していく

・15時で遊戯室を出るのは、原則ルールとして徹底していく

・遊戯室に工作物（お面をつけての事故あり、視覚狭くなり危険度が上がる）や、小さな遊具等は持ち込まない

・児の特性に伴い、トイレからの見失いや、帰る前の見失いがあるので、注意していく事

・車内のルール（シートベルト、助手席には乗せない、職員と手をつないで下車するなど）を守る

・食物アレルギーのある児への対応今後も注意継続（9/25訓練1回目終了）

・遊戯室のハンモックは撤去することに